



■今年もよろしくお願いいたします。

With コロナでスタートした 2023 年ですが、今のところ何とか練習はできております。気をゆるめずに、感染対策を実行することで、インフルエンザ予防にもなると思いますので、今しばらくは、マスクもご活用ください。学校では3学期、学年の総仕上げの時期です。体調管理に気を付けながら、勉強とスポーツ、どちらも今年のまとめとして、充実した学校生活をお送りください。特に6年生や中3生は、この春から上の学校へ進学します。卒業生として、悔いのないような最後の学期にしてください。他の児童、生徒も春に向けてこの厳しい季節をがんばりましょう！



■MUFGでの活躍

高校の森野辺選手が best16 に入った他、1～2回勝って、ポイントをゲットした選手が多くありました！樋口咲栄選手は14オシードの選手に勝つことができました！

■メールのご登録を！

練習会の中止や変更などは、一斉メール配信でもお知らせいたしております。(LINE グループは使用しません) 配信希望の方は、info@kyoei.ed.jp まで「メール配信希望」と、メールしてください。

■体調管理をしっかりと！

基本的な感染症予防対策はして健康な冬休みを！十分な睡眠と、しっかりとした食事を心がけましょう！練習では体温調節できる服装を。無理はしないこと！



■ダブルスについて

テニスの豆知識 77

硬式テニスにおいては、シングルスが中心で、ダブルスはやや扱いが低い感じがあります。特にプロの世界は賞金やニュースバリューにも差があります。ジュニアテニスにおいては、ダブルスも結構熱心に取り組めます。これは学校体育においては団体戦というものがあ、顧問の中には、ダブルスのスペシャリストを育成する人もいるからでしょう。また、キャリアの少ない選手や、シングルスでは勝てない選手も、ダブルスなら実績を出すことができます。國田が顧問としてインターハイに行けたのもダブルスでしたし、FJTC でもウチの娘や松本姉妹など、京都府チャンピオンや全中選手になれたのも、やはりダブルスでした。

シングルのランキング上位の者が必ずしも勝つとは限らないのがダブルスの面白いところで、二人の相性や性格など、技術や体力を補う部分がダブルスにはあるのです。そういう意味では、FJTC のようなチームにとっては、ダブルスこそ関西ジュニアへの近道のような気がします。また、中学で軟式のテニス部に所属しているメンバーもいますが、これもダブルス強化には良い経験だと思います。

何よりテニスというゲームを、仲間と二人で戦えることは、本当に楽しいものだと思います。1+1が3にも4にもなるのがダブルスの醍醐味とよく言われます。(たまに1+1が1よりもマイナスになる、相性の悪いペアもありますが…笑)

■今後の日程など

ウィンタージュニアは 2/4sat. ～

全国小学生予選のエントリーは 2/5sun. までにご連絡ください。

・新しいホームページ <https://fjtcs.jp/>

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 京都府福知山市篠尾 62-5 Tel.0773-22-6241

代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail: info@kyoei.ed.jp